

千葉市：脱炭素で磨き上げる都市の魅力～「行きたい」「住みたい」「安心できる」千葉市へ～

脱炭素先行地域の対象：グリーン・MICEエリア（千葉市美浜区幕張新都心地区）、グリーン・ZOOエリア（千葉市若葉区動物公園地区）
 グリーン・レジリエント・コミュニティ（施設群）

主なエネルギー需要家：住宅461戸、民間施設44施設、公共施設738施設

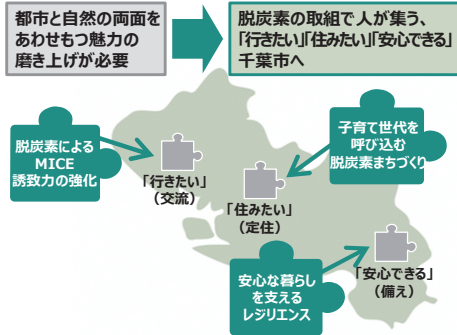
共同提案者：TNクロス株式会社

取組の全体像

動物公園が立地し市内で最も人口減少・少子高齢化が進んでいる「グリーン・ZOOエリア」、市全域のレジリエンスの強化と市民の行動変容を推進する「グリーン・レジリエント・コミュニティ」において、**太陽光発電・蓄電池や廃棄物発電を活用**するとともに、ZEH住宅の導入とEMSの構築により**脱炭素化と安心できるまち**を実現。大規模集客施設が多数立地する「グリーン・MICEエリア」の地域特性を活かし、**イベント参加者等の行動変容**を推進。市の特長である都市と自然の魅力をそれぞれ活かし、**人が集い、住まう、安心できるまち**を実現。

1. 民生部門電力の脱炭素化に関する主な取組

- ① 【グリーン・ZOOエリア】ZEH住宅(461戸)を導入し、新設する民間新電力が千葉都市モノレールの**軌道桁を活用して敷設する自営線**と大型蓄電池を接続し、**エリア内のエネルギー需給調整**を実施
- ② 【グリーン・レジリエント・コミュニティ】公共施設・**コンビニエンスストア**等に太陽光発電(17,312kW)・蓄電池を導入し、**災害時の住民支援拠点**とするとともに、廃棄物発電からの自己託送とEMSを活用したエネルギーの一元管理を実施
- ③ 【グリーン・MICEエリア】幕張メッセの照明をLED化する等により、大規模集客施設が多数立地するエリアを脱炭素化し、**出演アーティストからの呼びかけや、SNSの活用**による**行動変容**を推進



2. 民生部門電力以外の脱炭素化に関する主な取組

- ① 電動シェアサイクル(2,000台)を導入し、災害時に公共交通機関が利用できない場合の**レジリエンス**を強化
- ② 動物公園のガスボイラーを**バイオマス熱ボイラー(480kW)**に置き換えるとともに、**大規模集客施設**のイベント等で排出される**割りばし**を**ナッジ**※を活用して効率的に回収し、**バイオマス燃料に活用**

※ナッジの例：音楽イベントで好きなアーティストに投票する方法を割りばしにすることで、効率的に回収

3. 取組により期待される主な効果

- ① 公共施設や**コンビニエンスストア**等で太陽光発電・蓄電池を導入し、平時における再エネの普及・最適利用を実現するとともに、災害時には住民支援拠点としてレジリエンスを強化し、**安心できるまち**を実現
- ② グリーン・MICE参加者という**新たな交流人口を獲得し、地域経済を活性化**するとともに、イベント等で割りばしを効率的に回収し、バイオマス燃料に活用することなどで、**市民やイベント参加者の行動変容**を推進

4. 主な取組のスケジュール

2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度
	ZEH住宅導入							
	自営線・大規模蓄電池導入							
		公共施設・コンビニエンスストア等へ太陽光発電・蓄電池導入						
			廃棄物発電・EMS導入					
				電動シェアサイクル導入				
			バイオマス熱ボイラー取替工事					
				ナッジ等による行動変容の推進				